

み んなで さ っとずつ もつ と いい 町 へ

イベント 議会だより

第 42 号
2015.1.15



未来を担う子どもたち
(千知小6年生 社会科フューチャークラス)

2 簡易水道料金の統一

3 米価暴落対策を求める意見書を提出

発行：秋田県美郷町議会
編集：議会広報常任委員会

定例会概要	2
年頭のあいさつ	3
主な質疑	4
一般質問	8
所管事務調査	14
住民と議会との懇談会	18
キラリ美郷人	22

簡易水道料金の統一

平成27年7月～平成31年6月まで段階的に改正



配管工事

定例会概要

12月定例会を、12月8日から17日までの10日間の会期で開きました。審議した議案は、平成26年度一般会計補正予算や指定管理者の指定など25議案。その全てを、原案のとおり可決・同意・推薦しました。

また、一般質問は5議員が登壇して町政をただし、陳情8件を採択、2件を不採択としました。

今 定例会では、簡易水道の料金金の統一に向け、簡易水道給水条例の一部を改正する議案を可決しました。これまで給水地区によって違いのあった料金体系を、平成27年7月から段階的に改正して、平成31年7月から新料金に統一するものです。

同 一サービス・同一負担の原則のもとに、今後は、六郷西部地区の老朽化した施設や管渠などの更新。水道水の安定供給のための六郷東部と六郷西部、仙南南部と仙南中央の水道管の連結による総合補填や配水池の増設。紫外線消毒施設の導入などの更新計画を策定し、簡易水道事業の安定経営を目指すためのものです。

ま た、4月から開業する、美郷町宿泊交流館（ワクアス）の指定管理者に美郷温泉振興株式会社を指定することとし、その他7施設についてそれぞれ指定管理者を定めました。

平 成26年度一般会計補正予算では、住宅リフォーム補助金25件分200万円。来年度の教科書改訂に伴う教師用の教科書代317万9千円。美郷温泉振興株式会社に光熱費の不足分など1140万円。道路維持のための修繕費・消耗品費に1344万円の追加など。歳入・歳出それぞれ1億1295万5千円を追加し補正後の一般会計予算総額を116億4294万6千円としました。

年頭のあいさつ



美郷町議会議長
高橋 猛

新年明けましておめでとうございませう。昨年末に慌ただしく行われた国政選挙も終わり、政権の統投が決まりましたが、地方でも景気回復の実感を少しでも早く感じる事が出来る年になればと思っております。

ところで、昨年の大幅な米価の下落は、農家の経済は元より今後の営農に対して大きな不安を抱かせる深刻な問題でした。議会としても重要な事案であるという認識で「米価の大幅な下落に対する対策を講じるよう」町と同一歩調をとりながら国に対し緊急要望をいたしました。また本県の町村議長会、北海道・東日本町村議長会会長会でも提案をし、実行運動を行ったところではあります。

自治体、議会からも取り上げられ様々な交渉が行われましたが、国に対して地域の実情を訴え課題解決に向けて相互の連携を図りながら運動していくことは、大事なことであると思っております。

町は、合併の特例期間も終わり、今年度から予算規模が縮小される時期に入ります。その対策を実施すべく町でも検討を行っておりますが、議会としても将来に向けた議案のあるべき姿について検討するため「議会のあり方・政策調査会」を昨年立ち上げ協議をしているところであります。今後、住民との懇談会等でも意見を伺いながら進めてまいりたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

議員発議

「米価暴落対策を求める意見書」を提出

第10回臨時会 10月16日開催

要望事項

- 1 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）及び円滑化対策の実施にあたっては、交付金支払いの前倒し実施。
- 2 米の需給と価格の安定を図るため、あらゆる対策を講じること。
- 3 多様な農業者を支援する、できる限り画一的でなく自由度の高い支援策の構築。

J A全農あきたにおける26年産「あきたこまち」1等米の概算金が、前年対比60kgあたり3,000円引き下げられたことにより、本町では、引き下げ分で約10億3千万円減少すると試算され、臨時会において、議員発議により「平成26年産米の米価暴落対策を求める意見書」を可決し、町と歩調を合わせて、安倍総理大臣、麻生財務大臣、西川農林水産大臣、菅官房長官、衆・参両院議長、県選出の国会議員に対し意見書を提出しました。

歴史民俗資料館の新設

議会最終日の12月17日、初日に同意・推薦した案件以外の議案について質疑・討論・採決しました。以下主な質疑の内容を要約しお伝えします。



わらと生活再現展示室（歴史民俗資料館）

配置者は

村田議員 管理・業務者は展示資料についての説明知識を十分に持っている者の配置を。

生涯学習課長 指定管理者が業務を行うが、団体や学校の見学の際は、職員や文化財保護協会の方々をお願いする。

状況を見て判断する

村田議員 年間入館者数は、どれぐらい見込んであるか。

また、目標を下回った場合、無料化して集客することなど考えているのか。

生涯学習課長 入館者の目標は年間4000人と見込んでいる。無料化については、入館者数のデータをみて判断し検討する。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

内容 県人事委員会勧告により、特殊な職務の職員の月額給料を適正な調整額にすることができるとのこと。

該当職は

深澤（均）議員 具体的に該当する職務とは。

総務課長 班長は上席主査と同じ職務だが、班のとりまとめや班の責任者でもあり職務が重いので、職責にあった給与体系にする。

簡易水道給水条例の一部改正

内容 簡易水道料金を統一するものです。

料金への苦情は

村田議員 説明会への参加者数と苦情の件数は。

建設課長 説明会は12会場で行い、参加者は43人で苦情はなかった。

不公平がないように

村田議員 4年の激変緩和措置期間をもっと長くできないか。

また、生活弱者が支払いを滞った際の支援策は。

建設課長 激変緩和期間については、利用地域の不公平感や不満がないように経営の健全化を考えた4年とした。

また、弱者支援については、相談に応じ分割納付などを考えていく。

利用者へ啓蒙する
細井議員 料金の値上げをお願いすることなので、広報や個別のチラシで利用者に周知の徹底を図るべきだ。

建設課長

該当世帯が3600世帯あり、その半分の世帯は値上げとなるので周知・啓蒙を図っていく。

指定管理者の指定

内容 宿泊交流館の指定管理者に美郷温泉振興株式会社を指定するものです。

選定の経緯は

熊谷（良）議員 美郷温泉振興株式会社は、食事の提供や宿泊のノウハウを持っていることだが、補正予算に計上されているように安易に行政に頼ることは、経営の基本に欠けるのではないか。

指定管理者は、どのような経緯で決まったのか。

生涯学習課長 応募が、美郷温泉振興株式会社一社であった。

当会社は経験豊富で危機対応も万全であり、利用者の目的を達成できると考え選定した。



完成間近の宿泊交流館

指定管理者の指定議案一覧表

指定管理者に管理させる公の施設	指定管理者となる法人・団体	指定期間	
中央行政センター	美郷町商工会	5年	
南行政センター	財団法人 秋田県総合保健事業団	5年	
道の駅	産地形成促進施設	株式会社 雁の里せんなん	3年
	農林水産物直売・食材供給施設		
	野菜直売施設		
	農業振興施設		
手づくり工房湧子ちゃん	六郷まちづくり株式会社	3年	
ニテコ名水庵	六郷まちづくり株式会社	3年	
あったか山直売所	あったか山直売所運営協議会	3年	
宿泊交流館	美郷温泉振興株式会社	3年	
屋内スポーツ館	特定非営利活動法人みさぼーと	2年	

平成26年度一般会計
補正予算

一校だけなのか

深沢(義)議員 ウィンター
スポーツパワーアップ事業の
補助金は、千畑小学校以外に
申請はなかったのか。また、
一校だけの枠なのか。

教育次長兼教育推進課長 県

の事業で、各小学校へ周知し
たが、校長の判断で今年度
は千畑小学校のみの申請とな
った。

なぜ町で購入するのか

熊谷(良)議員 保冷車は、
会社を利用するものなので会
社の経費で購入すべきであり、

なぜ町で購入するのか。

商工観光交流課長 宿泊交流
館などへのケータリング事業
を強化して経営を安定させる
ため、町で購入するものであ
る。

保護者と協議する

深澤(均)議員 学童保育は
拡大されることになるが、祖
父母がいる児童について、も
っと緩和できないか。

教育総務課長 学童保育はこ
れまで、一年生から三年生ま
でが対象であったが、27年度
からは六年生まで拡大する。
祖父母がいるため対象となら
ない家庭については、保護者
と協議していく。



スキー教室

坂本東嶽邸観覧料
徴収条例の一部改正

内容 観覧料の規定を改正し
たもので、免除対象者を「町
内の児童生徒及び学校の授
業」としていたものを「町内
の公共団体、教育機関が使用
するとき」とし、観覧料を個
人210円、団体を「20名以

墓地条例の一部改正

内容 改正した内容は、今後
新たに町営墓地の使用許可を
受ける際に、墓地の永代使用
料の負担をお願いするもので、
千畑地区の上野乙・元本堂道
南墓地が1平方メートル当た
り2万円、六郷地区の隠居塚・



坂本東嶽邸

上」から「15名以上」としま
した。

学友館条例の一部改正

押切・明田地・鎗田共同墓地
を1万7500円としました。

内容

入館料について改正し
たもので、団体について「20
名以上」としていたものを
「15名以上」としました。

人事

【教育委員会委員の選任】

委員の任期満了に伴い、次
の方の選任に同意しました。



再任
福田 世喜氏
(寺田)

第12回 議会定例会提出議案一覧 (12/8~12/17)

同意第2号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〈全員賛成で原案同意〉
議案第87号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〈全員賛成で原案可決〉
議案第88号	歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の制定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第89号	行政手続条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第90号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第91号	学友館条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第92号	坂本東嶽邸観覧料徴収条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第93号	国民健康保険条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第94号	墓地条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第95号	簡易水道給水条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第96号	道路占用料徴収条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第97号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第98号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第99号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第100号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第101号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第102号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第103号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第104号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第105号	平成26年度一般会計補正予算第10号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第106号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第107号	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算第5号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第108号	平成26年度下水道事業特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第109号	平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第110号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
発議第6号	軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを 要請する意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第7号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の 提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第8号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める 意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第9号	介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第10号	介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第11号	年金削減の取り止めと最低保障年金制度実現を求める意見書の 提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第12号	労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める意見書の 提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第13号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める 意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉

給付型奨学金制度の創設を

教育長「導入しない方針だ」



村田 薫 議員

教育長 家庭の経済状況に関わらず意欲と能力のあるすべての子どもが、質の高い教育を受けることができるようにすることは、極めて重要な事と認識している。奨学金制度は町でも実施しているが対応

議員 最近、家庭の貧困により、子どもが十分な教育を受けられず、大人になってから自らの経済的に困窮する「貧困の連鎖」が社会問題となっており、この問題を断ち切る支援が必要とされている。この一助として、給付型奨学金制度を創設し、教育の機会拡充を図り人材の育成に取り組みべきと考えるが町の考えをうかがう。

額は高校生が月額1万5千円、専門学校生、大学生が4万円となっており、いずれも無利子だ。こうしたなか国では、平成22年度から高校授業料の無償化に取り組み、本年度からは制度の一部を改正し、高校生を対象とした返済不要の奨学金給付制度を導入している。また大学生を対象とした支援に関しては無利子奨学金の拡充や、償還据え置きの延長など改善策を講じて、経済的な理由に関わらず就学の機会を得られるようにしている。議員指摘の給付型奨学金制度の導入については、国やほとんどの県で実施してきておらず、県内においても実施しているところはない。このよ

うに、実施している自治体が極めて少ない背景には、財源問題・給付の基準設定・高等教育を受けるものと受けられないものとの公平性が担保できないかなど、難しい問題が存在している。今後国・県・他市町村の動向を注視していくが、町では現行の制度にて支援していきたいと考えており、給付型奨学金制度は導入しない方針だ。



高校の進路相談室

一般質問

5議員が 9項目を質す

ただ

質問者

村田 薫 議員

◇給付型奨学金制度の創設を 掲載

深澤 均 議員

◇農業振興について 掲載

◇光通信の利活用について 掲載

森元 淑雄 議員

◇新年度予算編成の基本方針は 掲載

◇地方創生について（まち・ひと・しごと） 掲載

深沢 義一 議員

◇（仮称）スポーツ文化いきいき条例制定を 掲載

泉 美和子 議員

◇雪下ろし対策について 掲載

◇福祉灯油の実施について 掲載

◆教育委員会制度の改革について
質問) 教育行政にどのような姿勢で臨むのか。
答弁) 適切で適正な教育行政の推進に努める。

町づくりの基本理念は

町長「癒やしとにぎわいを感じる町」



森元 淑雄 議員

議員 米価の大幅な下落は地域経済や社会に大きな影響を与え、深刻さを増している。町の水田農業は、収益を確保できる作目への転換を目指す

議員 米価の大幅な下落は地域経済や社会に大きな影響を与え、深刻さを増している。町の水田農業は、収益を確保できる作目への転換を目指す

議員 米価の大幅な下落は地域経済や社会に大きな影響を与え、深刻さを増している。町の水田農業は、収益を確保できる作目への転換を目指す

とを理念として取り組みを進めていく。

また、事業の検証について、町職員と目標管理項目において、事業成果の検証を行

なっている。こうした積み重ねから、予算が適切な内容になるように努めていく。



にぎわう清水まつり

議員 政府は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った地方版総合戦略を策定した自治体に対し、自由度が高い交付金を支給する仕組みを検討しているようだが、美郷版地方創生についての考えをうかがう。

町長 町では、平成17年度に定めた美郷町総合計画の目標を、最終的に人口確保に置いている。平成26年度の総人口を2万1千人確保するというもので、そのために住みよい環境を整備し、結果として将来にわたり活力ある町を構築していくように各般の施策を展開してきた。現在策定中の第2次美郷町総合計画と基軸を合わせた内容とし、実効性のある地方版総合戦略にまとめていく。

作目転換への支援を

町長「幅広い支援を行なう」



菊の定植作業

議員 米価の大幅な下落は地域経済や社会に大きな影響を与え、深刻さを増している。町の水田農業は、収益を確保できる作目への転換を目指す

べきと考えるが。27年度以降の町の農業振興についてうかがう。

①作目転換のための研修や、試作などソフト面への支援を検討できないか。

町長 ①来年度は県農業試験場などの連携を図りながら、美郷ブランド品目の栽培特性などの技術研修を行なうほか、新規の作物栽培や販売研修に対する講師の紹介など、幅広い支援策を講じていきたい。

②これまでも町内産農産物の利活用を意識して、大豆利用事業者に対してできる限り地元産の利用を働き掛けてきた。米については、町内酒造会社を利用して酒造好適米について生産者と調整に入っている。また、美郷雪華酵母による新たな商品開発など、農業者

議員 町は、光通信網を整備してきたが、光通信を活用した町づくりや行政サービスをどのように考えているか。

また、インターネットを利用した議会の公開が全国の自治体で拡大しているが町長の見解をうかがう。

町長 税の申告手続きや各種申請の電子化など、インター

②町内企業との連携で町内産の米や大豆を使用した加工品を実現できないか。

産者と町内企業が良好な関係を構築できるように取り組んでいく。

インターネットサービスの拡充を

議員 町は、光通信網を整備してきたが、光通信を活用した町づくりや行政サービスをどのように考えているか。

また、インターネットを利用した議会の公開が全国の自治体で拡大しているが町長の見解をうかがう。

また、議会と十分な議論をすることが必要だ。



深澤 均 議員

高齢者世帯への雪下ろし対策を

町長「自助・互助・共助・公助をつなぎあわせて」



泉 美和子 議員

町長 雪対策については、所有者が個別に対応することが原則であると考えているが、経済的、労働力的に課題を抱えている世帯があることも承知しており、何らかの支援策が必

議員 ここ数年続く大雪に、地域住民は大変な苦勞を強いられている状況である。とりわけ高齢者世帯にとっては、肉体的にも、経済的にも負担が重く雪下ろし費用の助成制度を実施すべきと考える。また、業者に頼んでも作業が集中するため、なかなか来てもらえないときがある。作業員の確保は重要であり、冬期間臨時職員を雇用し、見回りや雪下ろしもできる体制を作るべきと考えるが町長の見解をうかがう。

要であると考えている。町としては、ささえあい体制づくり事業として、貸し出し用の除雪機を配備するなど、地域における住民互助活動の支援や、町民税非課税高齢者世帯に軽度生活援助事業として、シルバー人材センターへの委託による除排雪作業を行っている。

今後は、自助、互助、共助、公助をつなぎあわせて、高齢者の生活をささえる仕組みが必要と考える。作業者不足については、民間事業者で充足されていると考えている。



中学生による除雪ボランティア

議員 消費税増税や年金の引き下げなど町民の暮らしは厳しく、昨年同様に今年も福祉灯油を実施すべきだ。

福祉灯油の実施を

町長 昨年と異なり、灯油販売価格は値下がりが続いており、町単独では考えていないが、国の経済対策などと連動できる場合は検討する。



ストレッチ教室

議員 少子高齢化が進む中、町ではセルフケアの推進によって健康長寿に向けた取り組みを始めたところだが、国保財政の面や健康管理を自分自身で行うという視点から、大変重要なことと考える。町では、他自治体に誇れる体育文化施設に加えて、宿泊交流施設や歴史民俗資料館などスポーツ・文化面において新たな施設が整備されることになっており、このことは町民の生きがいづくりに多いに寄与するものと考えている。

また、子ども達の文武両面に渡る活躍もめざましいものがあり、こうしたことから、町として住民の生きがいづくり、健康増進、活力創出を目的とした、仮称「スポーツ・文化いきいき条例」の制定を望む。

町長 町民が健康でほがらかに暮らすことは町づくりの根幹のひとつである。今般策定した美郷町セルフケア推進方針も健康長寿を認識してのことである。これまで地域の特性を活かし独自条例を制定している自治体もあるが、町では、これまで町民憲章や総合計画の中でプロジェクトとして取り組んできている。提案の独自条例については、政策のよりどころとなるところであり、あまたの独自条例にみられる設置目的の個性性を踏まえ、スポーツ振興、並びに文化振興それぞれの独自条例が望ましいのか、あまり例を見ないが包括的な独自条例が望ましいのか、十分に検討してみたい。また別の方法として議決して効力を持つ各種宣言、例えばスポーツ健康のまち宣言や芸術文化推進のまち宣言などしている自治体もある。こうした状況を踏まえ今後、先行している自治体の取り組みを調査し町として効果的な対応を考えたい。

町長 「効果的な対応を考えたい」

スポーツ・文化いきいき条例制定を



深沢 義一 議員

乗降場所をわかりやすく



湧太郎前

乗合タクシーの運行状況

平成25年度の見直しで、町内全域運行とし、乗継不要、拠点半径500m以内、医療機関での乗降が可能になった。登録者723人に対し、実利用者は217人である。一便あたりの平均乗車密度は1・49人、増加傾向にあるとの説明を受けた。

総務常任委員会は、11月20日委員会を開催し、第9回議会定例会で付託された閉会中の所管事務調査を実施しました。その概要と調査意見を要約し掲載します。

調査意見

乗合タクシーの乗降場所について医療機関まで範囲を広げたことは、利用者の利便性が向上し住民サービスが図られている。利用促進については、更なるPRや乗降場所（30ヶ所）の位置を地図に示すなどわかりやすく周知してほしい。

地方債の状況と償還計画

地方債残高は一般会計約123億円、特別会計約53

億円、債務負担行為（注1）額は約1億円である。起債（注2）の繰上償還（注3）は、臨時対策事業債等の政府資金よりも、高利率の銀行資金を優先して繰上償還を進め財政健全化を図っていると説明を受けた。

調査意見

償還計画は将来に向けて地方債を減らしていく方向だが、シミュレーションによると償還額が横ばいとなっていて、普通交付税が減額されていく過程で、公債費比率の上昇が心配される。

町に対する陳情書の取り扱い

陳情、要望などは総務課秘書広報班で受付し、担当課が現場確認や相手方からの聞き取りなどを行ない、所見を付して町長と協議を行なったあと、総務課で回答書を送付しているとの説明を受けた。

調査意見

検討すると回答した要望について、その後再検証していただきたい。回答については今後も、速やかに行なってほしい。

(注1) 債務負担行為：数年度にわたる債務について将来の支出を負担すること。
 (注2) 起債：お金を借りること。
 (注3) 繰上償還：将来支払うべき返済額を前倒して支払うこと。

利用促進と適正管理を

教育民生常任委員会は、11月19日委員会を開催し、第9回議会定例会で付託された閉会中の所管事務調査を実施しました。その概要と調査意見を要約し掲載します。

宿泊交流館建築の進捗状況と利活用

【施設内容】宿泊棟・宿泊室（収容可能人数51人）、研修棟・多目的室（収容人員20人）
 【利活用の内容】
 ①スポーツ交流
 ②歴史・文化交流
 ③自然環境体験・学習交流
 工事は順調で4月1日から営業を開始するとの説明を受けた。

調査意見

宿泊施設は、県産木材をふんだんに使い、ヒートポンプの活用など資源の有効活用を図っている。宿泊棟は、バリアフリー構造となっており、障害者への配慮も行き届いている。会議室に配備されている音響設備については利用の際支障のないよう配慮していただきたい。
 初期の設置目標が達成できるよう、利用促進と適正管理がなされるよう努められたい。



工事中の宿泊交流施設

不登校児童・生徒の実態と対策

不登校の要因は学校生活上の問題や、家庭生活上の問題、本人の問題が複合的に絡み合っている形となっており、平成25年度の「児童生徒1000人当たりの不登校者数」は全国平均、県平均よりも下回ったとの説明を受けた。

調査意見

要因としては、様々あるが時として関係者の意見が異なる場合があるので、子ども・父兄・学校の話をよく聞いて対応していただきたい。
 年間30日以上欠席がある子どもを不登校としているが、早期対応が大切であり、30日未満の子どもへの対応も進め

中学校のビオトープと水環境学習

既存の観察池は、イバラトミヨ等の生態系が確立されているため、通路などの設置により観察しやすい環境に整備した。
 また、新たに観察池を設け、水生生物の観察と保存の両立を目指すとの説明を受けた。

調査意見

観察用の池や水路が整備され、学習の環境が向上している。今後はイバラトミヨなどの生態系維持の観点から、水生植物の栽培を進めていただきたい。

この他、防災計画の見直しと対策について調査しました。

多様な米の 情報提供と園芸振興を

産業建設常任委員会は、11月18日委員会を開催し、第9回議会定例会で付託された閉会中の所管事務調査を実施しました。その概要と調査意見を要約し掲載します

町農業の現状と今後の取り組み方

農政課より、平成26年度事業実施状況及び平成27年度以降における町の農業施策について説明を受けた。

■調査意見

転作廃止など農業政策の大転換期を迎えるので、しっかりと対応をお願いする。
主食用米価の大幅な下落に対応するため、酒米や飼料用米など多様な米の需要を把握しながら、情報提供をしていただきたい。町とJA、農業

者がこれまで以上に連携を密にし、米の需給バランスを考慮しながら畑作物や園芸作物の作付け拡大を進めていただきたい。

工事発注状況と進捗状況

建設課における工事発注は、11月10日現在で51件となっている。施工にあたっては、とくに大きな問題や工事の遅れなどもなく、計画どおり施工されていると説明を受けた。

■調査意見

工事契約の変更はあるものの特段問題もなく計画どおり発注され、適切に工事が行なわれている。信頼性や品質をそこなうことのないよう、引き続き適切な管理監督に努めていただきたい。

道路除雪体制

除雪の対象となるのは、車道、歩道あわせて528・8kmであり、作業時間は、夜間が午前2時から午前7時、日中は午前8時30分から午後4

■調査意見

時30分までとなっている。出勤時の降雪量が30cm超になると作業効率が低下し、除雪作業に遅れが生じ、通勤の時間帯と重なる場合もあると説明を受けた。

要望が寄せられるが、できるだけ適切な対応をお願いしたい。



ロータリー車での除雪作業

「美郷雪華」特産品開発の現状と展望

委託業者や除雪従事者への安全対策を徹底し、事故なく作業を行なっていただきたい。
住民から除雪に対する様々な
美郷雪華酵母による日本酒は、6月に純米酒として1600本を限定発売し完売とな

り、10月には純米原酒ひやおろし1500本を限定発売した。

また、他の食品開発に着手するため、県総合食品研究センターとの共同研究契約を締結している。

美郷雪華ルームフレグランスは3月に発売発表会を開催し、限定300本を完売した。今後の製造販売は、観光協会で行なうこととし支援していくと説明を受けた。

■調査意見

美郷雪華酵母による食品部門への開発が進められており、酵母の活用について大いに期待する。今後の事業展開においては、さらなる農商工連携の取り組みを進めてほしい。

第10回 議会臨時会提出議案一覧 (10/16)

議案第79号	平成26年度一般会計補正予算第7号	〈全員賛成で原案可決〉
発議第5号	平成26年産米の米価暴落対策を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉

第11回 議会臨時会提出議案一覧 (11/28)

承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
議案第80号	工事請負契約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第81号	工事請負契約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第82号	工事請負契約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第83号	工事請負契約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第84号	町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第85号	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第86号	平成26年度一般会計補正予算第9号	〈全員賛成で原案可決〉

第11回臨時会 町長・副町長及び教育長の 給与改正など

11月28日、第11回臨時会を開催し、承認1件、工事請負契約の一部変更4件、町長・副町長及び教育長の給与改正2件と平成26年度一般会計補正予算を審議し原案を全会一致で可決しました。補正の主な内容は、固定資産税の課税誤り及び所得税の源泉徴収漏れに伴う関連経費、宿泊交流館アリーナ天井設備耐震改修工事に係る経費などの追加で、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに6145万4千円を追加して総額を115億2999万1千円としました。

第10回臨時会 米価下落に対する無利子融資の 助成経費など

10月16日、第10回臨時会を開催し、平成26年度一般会計補正予算を審議し原案を全会一致で可決しました。主な内容は、平成26年産米概算金の大幅下落により減収が見込まれる農家などに対する無利子融資の助成経費、宿泊交流館アリーナ耐震工事設計業務委託料、町消防団分団旗購入に係る経費などの追加で、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに764万4千円を追加して総額を114億5540万7千円としました。
また、政府に米価暴落対策を求める意見書を全会一致で採択しました。

活発な意見交換

「住民と議会との懇談会」を10月29、30、31日の3日間、開催しました。その主な内容を報告します。



荒井会館での住民との懇談会

「住民に身近な議会」を指して町内9箇所で開催し、76人の参加をいただきました。以下、議会や町への意見、要望など主なものに対する議会と町の回答を掲載します。

議会でも検討中

住民 議員定数を削減すると住民の声が届かない、定数減は意味がない、報酬を

減じて定数はそのままにしてほしい。

議会の回答 定数問題は大切なことであり、議会でも調査・検討会を進めている。今後、住民の意見を伺うことが必要との考えもある。

貴重な提言

住民 一般質問が少なく、いつも同じ議員が質問している。もっと一般質問するべきではないか。

議会の回答 確かに少ないが、貴重な提言と受け止める。

除雪後の雪の処理を

住民 上畑屋地区でスクーターバスを利用する子どもたちのために簡易な待ち合わせ場所を2箇所つくったが、除雪車で雪を置いていかれると処理が大変なので配慮してほしい。

町の回答 待合所付近での除雪には注意しながら対応しているが、近年、豪雪が続く、除雪車の排雪処理が多くなってきている。今後も配慮しながら行なっていくが、地域で設置した待合所もあるので、ご協力をお願いします。

町道の除雪を

住民 琴平地区内で狭い町道があり、昨年のやまびこ座談会で要望したが、屋根からの落雪があり難しいとの回答があった。地域住民の利用があるので、個人で除雪し対応しているが、除雪で溜まった雪の排雪だけでも年に数回、お願いできないか。

町の回答 この区間は、住宅屋根の落雪が危険であることから、日常的な除雪を見合わせているもので、降雪期間を過ぎ、屋根に雪が無くなった春先に排雪を実施

施している。降雪期は不便をかけるが、除雪している西側ルートを利用していたきたい。

「止まれ」の標識を

住民 太桂寺（宝門清水）の入口のT字路に「止まれ」の標識を設置してほしい。

町の回答 交通規制標識については、県公安委員会との所管となる。指摘の場所

には既に「止まれ」の標識が設置されているが、経年劣化による退色のため確認できにくくなっているため、大仙警察署に更新の要望を伝える。

農業振興、視察研修は

住民 米価下落は地域経済への影響が大きく、農業振興に対する議員の意見考えは。また議員研修による町への提言は。

議会の回答 米価下落により約10億3千万円減少すると試算されており、大変な事態だ。町では県が実施する融資保証料を補填する。これからは米だけでなく園芸作物など収益性の高い作物へのシフトも大切と考える。

研修は、町の課題について視察を行っている。会議などの中で、町への意見や提案をしている。

状況を踏まえ検討

住民 JA千畑ライスセンター西側歩道の花壇が施設を利用する大型車両の通行を妨げている。また、冬の間は吹き溜まりになるため、子どもたちの通学にも支障を来しているため検討をお願いする。

町の回答 植樹帯（花壇）は歩行者の安全確保のため、歩道と車道の間に設置しているもので、JA施設を出

流雪溝の氾濫対策を

住民 本道町内に流雪溝があり、管理組合を作り管理しているが、年に2〜3回氾濫するので流れをよくしてほしい。

町の回答 流れの改善の一つとして上総川への放流口の修繕を実施している。一斉に行なう雪投入に工夫が必要であり、状況や利用の仕方等を確認しながら検討する。

防災無線の設置を

住民 六郷東根の四ツ屋地区では防災無線の放送が聞こえにくく困っている。四ツ屋地区に防災無線がないので設置を要望する。

町の回答 対策としては子局（スピーカー）を新設するか、個別受信機を設置いただくなどの方法がある。聞こえ方の現状を調査の上、どのような対策が有効か検討、対応する。

注意喚起看板を

住民 八卦地区のスクールバス乗車付近は、スピードを出す車が多く危険なので注意喚起の看板設置をお願いする。

町の回答 「バス乗降注意」の看板を設置し安全確保に努める。



視察先のレタス栽培

12月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◇ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情（全員賛成）
宮城県肝臓病交友会 代表 大江 正義 他2名
- ◇安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書（全員賛成）
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也
- ◇介護従事者の処遇改善を求める陳情書（全員賛成）
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也
- ◇介護従事者の処遇改善を求める陳情（みなし採択）
(注) 同一会期中に同一趣旨の陳情等が議決されている場合、既になされた議決の結果により、「採択」とみなして処理する取扱い。
秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之
- ◇労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情（全員賛成）
秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之
- ◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情について（全員賛成）
秋田県林活議員連盟連絡協議会 会長 武田 英文
- ◇年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情（全員賛成）
全日本年金者組合大曲支部 支部長 石渡 志夫

不採択としました

- ◇専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について（不採択15人：採択2人 武藤議員・泉（美）議員）
日本労働組合総連合会秋田県連合会 会長 東海林 悟 他1名
- ◇集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情（不採択15人：採択2人 武藤議員・泉（美）議員）
秋田県平和委員会 代表理事 川野辺 英昭

〈教育民生常任委員長報告〉深澤（均）委員長
年金は国民の老後の大きな収入源となっている。国債残高が莫大なか中、ある程度運用して基金が安定的に確保できる仕組みをとる必要がある。陳情には賛成できない。

〈採択意見〉
泉（美）議員 憲法の基本原理に関わる重大な変更を十分に議論することなく閣議決定で行うことは、立憲主義を真に向から否定するものである。時の政府の判断によって恣意的な解釈となる危険性が大きく、この陳情は採択とすべきである。

〈総務常任委員長報告〉
中村委員長 誰が日本の国を守るのか。本来は自分たちで守るべきであるが、これまでもそうであったように、同盟国とお互いの協力して守ることも大切である。そのため、政府が進めている集団的自衛権の法整備は必要なことであると考へ不採択とする。

第2回議会のあり方・政策調査会

美郷町の人口が1万3千人に？

11月13日、少子化対策に つなげるための人口問題に関する勉強会を、秋田県総合政策課・人口問題対策班の橋本副主幹を講師に迎え開催しました。

くした会議でありました。次回は、議員定数について1月に秋田県市町村課より講師を派遣していただき、開催することになりました。

今後、想定される人口減少について、さまざまな資料を提出していただき、本県の実況や美郷町の状況、また県の取り組みについて詳しく説明をいただきました。

また、資料の中でも2040年の秋田県の人口が、2013年の105万人から70万人に減り、美郷町の人口も現在の約2万1千人から1万3千人台に減ることがシミュレーションされており、官民一体となった少子化対策の推進が大変重要であると、意を強



講師の橋本副主幹

全国町村議会広報研修会

(10月21、22日 東京・砂防会館)

読んでもらえる広報づくりを目指して



全国から140の町村議会が参加し、第81回町村議会広報研修会が開かれ、議会広報常任委員会の5人が参加しました。

初日が全体会、2日目分科会という日程で、読みやすく、見やすい広報づくりについて講義を受けました。見やすくするポイントとして①図表やイラストを入れる②漢字を少なくする③改行、空白行を入れるなど、文書も見たい目が勝負とのことで大変参考になりました。今回の研修を活かし、さらに読んでもらえる広報づくりに頑張りたいと思います。

みさと議会だより 第41号 クイズ 回答と当選者

★クイズ回答

【問1】 第12回住民と議会との懇談会は10月〇・〇・〇日

→ 【回答】 29 30 31

【問2】 平成25年度決算での実質公債費比率は〇〇.〇%

→ 【回答】 10.5

◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方が当選しました。

熊谷 順子 様 泉谷 みよ子 様

築田 悦子 様

シリーズ キラリ美郷人 vol.37



「竹うち」打ち手実行委員会副委員長

大久保 繁さん (六郷 旭町)

勇壮な「竹うち」行事



800余年の伝統を持つ「六郷のカマクラ」行事は、天筆まつり、鳥追い小屋、竹うち、天筆焼きの行事からなっていてクライマックスが「竹うち」です。昭和57年に文化庁から国指定重要無形民族文化財の指定を受けました。

この「竹うち」の伝統が合戦中の乱闘騒ぎにより危険な状態で行なわれるようになってきたことからカマクラ保存会では、安全な「竹うち」実施のため、関係団体に協力を仰ぎましたが、顕著な改善はみられませんでした。

中学三年生の時から「竹うち」に参加してきた大久保さんも、この状況に心を痛めていた一人でした。そこで同じ考えを持った数人の若者達とともに『誇り高く勇壮で安全な「竹うち」を』をスローガンに「竹うち」打ち手実行委員会を立ち上げました。彼らの努力により乱闘は確実に減りました。様々な方の協力のおかげで伝統ある「竹うち」になりつつあり、全国から多くの観光客、報道関係者が訪れるようになりました。

クイズ

問1 12月定例会で審議された議案の数は〇〇

問2 閉会中に3常任委員会で行われたのは〇〇〇〇調査

…… 〇に入る言葉や数字をお答えください ……

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成27年2月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。

美郷町議会事務局 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp
美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。